

## てがたんレポート Vol.1 No.9 (2004年12月)

★観察コース：参加者多数のため、3グループに分かれて観察しました  
(その1) 博物館駐車場スタート→鳥博前田んぼ→水の館前→ミニ手賀沼→  
手賀大橋下→噴水広場→手賀沼遊歩道→釣り堀前→芝生広場→噴水広場(解散)  
(その2) 博物館駐車場スタート→釣り堀前→芝生広場→水生植物園付近→噴水  
広場(解散)

★観察日時/天気：2004年12月11日(土) 10:10~12:10/晴れ

★参加人数：42人

★観察案内と記録：

- ・友の会観察ボランティア：小泉さん、染谷さん、中野さん
- ・鳥博：時田

今回のテーマ  
・ユリカモメの成鳥と幼鳥を  
比べよう  
・「ひつつき虫」をさがそう

### 観察記録—みんなで観察した生き物リスト—

#### 【観察した鳥】

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、バン、オオバン、ユリカモメ、キジバト、カワラヒワ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

(雑種と思われる個体)

カルガモ×マガモ(アヒルか?)

(帰化鳥)

コブハクチョウ、カナダガン

(飼い鳥が野生化したもの)

ドバト(原種カワラバト)、アヒル(原種マガモ)、バリケン、

#### 【観察した植物】

・野草の花

セイヨウタンポポ、タネツケバナ、ノゲシ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ヒメジオン

(植栽)

サザンカ、カンツバキ

・ロゼット

アレチマツヨイグサ、ギシギシ、ノゲシ、セイヨウタンポポ

・木の実、種

シャリンバイ、ナンテン、アオキ、フジ、クスノキ、ネズミモチ、トウネズミモチ

(「ひつつき虫」←付着型種子散布の種子) オオオナモミ、コセンダングサ

#### 【観察した昆虫】

・直翅目

コバネイナゴ、マダラスズ(声)

・鱗翅目

キチョウ、ヤマトシジミ、イラガの繭

#### 【その他観察した生き物】

クチボソ、ヌマチチブ、トウヨシノボリ、コイ、テナガエビ

\* リストの生き物の名前は順不同です

# 12月の観察アルバム



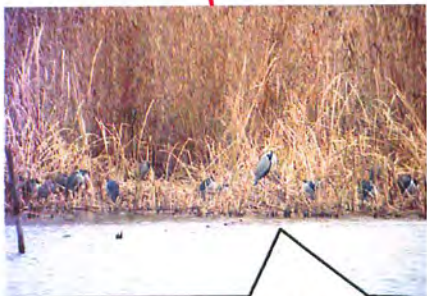
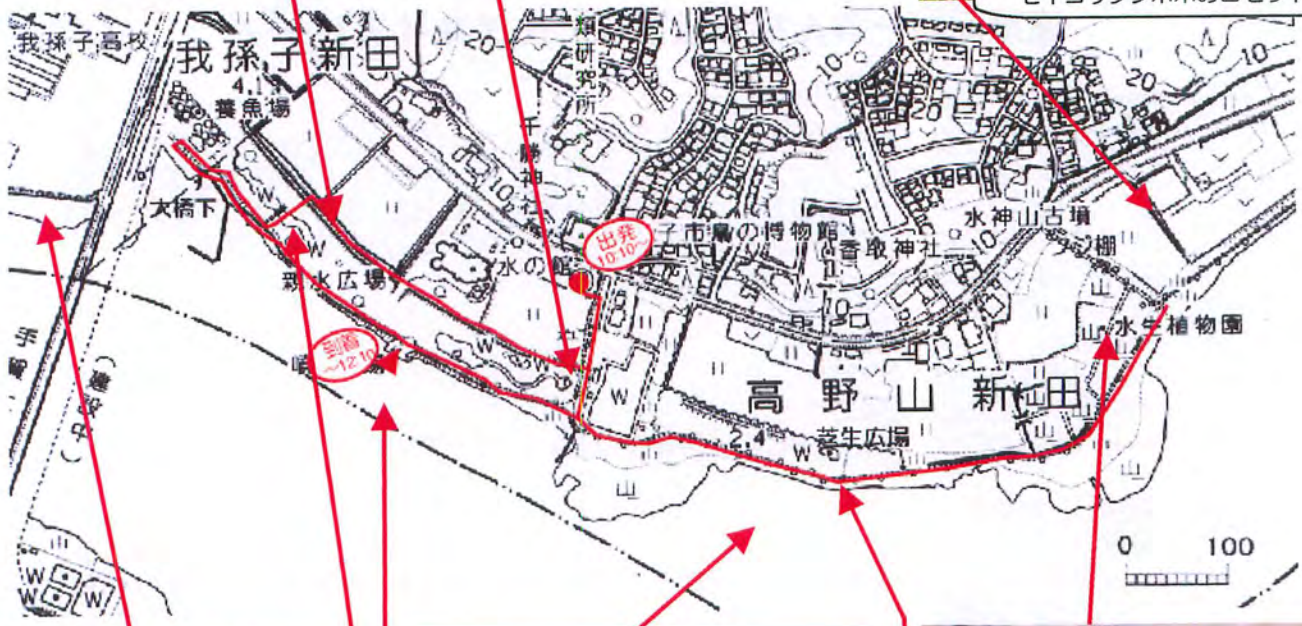
草むらの中を歩くとズボンのすそに  
コセンダングサの種子がいっぱい(>\_<);



冬に花咲くサザンカ  
花びらが一枚ずつ散っています  
(よく似たツバキは花ごと散ります)



冬の準備  
セイヨウタンポポのロゼット



ヨシ原にゴイサギとアオサギが休んでま  
した(後日数えるとゴイサギが約100羽)



漁食性のタカ、ミサゴ  
運良く水中へのダイビングシーンが  
見られ、友の会の中野さんが見事速写!



“ひっつき虫”の代表  
オオオナモミ



誰が放したのか? 飼い鳥の  
バリケンがいました  
(カモ科、原種ノバリケン)



ユリカモメの成鳥(左)と  
幼鳥(右=今季生まれ)



アオジが「チッ チッ」と  
鳴いていました